

令和6年度 大久野小学校 学校経営計画

校長 小原正弘

1 教育目標

・susun de manabu

・やさしい子

・たくましい子

2 目指す学校像

- 校 校 学 校 学 校
う校む 合学く びるぐ
て働を し協供 磨て子
琢せに 磔わも 切合と
、を、 り心い
、出と あ、合
くを民 がいし
し恵住 優知域 気合力
心、地 が員者 活し協
童職護 が員者 活し協
児教保

— 3 中・長期的な目標

4 今年度の重点目標

- | | | | |
|--|---|--|---|
| (1) | (2) | (3) | (4) |
| （立）立いめるい分開本読
（確）確着組すら「展基に図
（を）をちり現ねたを・特を
（律）律落取実、し」的、上
規がにをにに業基礎方向
業童習業も確授基學の
授児学授と明る、な力。
（1）してるとをかし的解る高を | （立）立いめるい分開本読
（確）確着組すら「展基に図
（を）をちり現ねたを・特を
（律）律落取実、し」的、上
規がにをにに業基礎方向
業童習業も確授基學の
授児学授と明る、な力。
（2）福教充思範力校す育 | （立）に徳の、規協学とを
（特）特道導りやという度
（道）道図心達よろ態
（導）導、指図心送や
（健）健をめ全送や交を向
（善）善健め全送や交を向
（指）指保善安を欲。童傾健
（保）保育改、を、活意の児校のる
（高）高安を欲。童傾健
（安）安導りと健う度事る童増
（導）導、指図心送や
（善）善健め全送や交を向
（指）指充体もなす育か不心を
（3）指充体もなす育か不心を | （立）庭携す地を活開く活日施に
（確）家連視、源育、づ。育、祉善
（を）の重に資教し校る教し福改
（律）動の策貢
（規）地協とのかをれを出のす
（規）・・る域生動かり
（規）域力と教し工た進夫の実。
（規）地協とのかをれを出のす
（規）・・る域生動かり
（規）域力と教し工た進夫の実。 |

5 具体的方策

- | | | |
|---|---|---|
| <p>(1) ^ア 学者充地細を懲者護信
校・護層・め發、護保のる、化活す樂統行域を
学年保一庭き啓に保、民め材教育開音伝域地り
た学やを家てやもな住努力人、教公・地・くの
れ・り容、し明と寧行域に之史た・にツのしづる連を等よ保
か校よ内せ対説と丁を地得域歴し施も一連加係めウと究容だ、民
開学だのさになう・応・獲地・か実とボ関參闘進(2)策研内校て住
(2) ^ア 級会実域か行切対者頼イ 読生をとス能にの層(2)施内の學じ域る。</p> | <p>(3) ^ア 果科なしを実 め充、識にき起るてのり慣慣
結育的続力充 始のり意も大がすし育図習習
康の体果繼体を を導図るとのがに携食を活食 向充原結的化のつ國居ル。
健定、効を、組 全指をすとでけう連や善生い 傾を、析体確者添をの用る
の測しで動等取 安全善対る外やよと導改なしる校応め分具明護り実童專す
身力用業運うる通安改にめ内故い庭指・的まで登対たのくの保よ充児て用
心体活援助行めせ交種・全高校事な家健実本望育不のる景づ策・にの該し運
(3) ^ア をの補て高さ 各実安を學なき 保充基やを ヘせ背基応童ち応當とを</p> | <p>(4) ^ア 童さ・に対児持対 所ム
児実因果な、氣たる場一
のた、宜をやす
町しい適等者開
日出 動行をり護公
の校そ、通地</p> |
| <p>(1) ^ア 態席い律 定リ指と動グ対を表導業ま充力。的のし力やし欲
く着な規 のド的る活ン・びや指授。の解る果下通業法夫意 入のか実善
聞ムし業る能て充國語ミ的学力る、る導読め効Jを授導工習 導制生充改
上向をイを授図技し補を言ラ体い考めしめ指、努の〇善の指を学。に任等の業
話ヤ物、を・指や実、グ主深思高夫進書りにT、改員、態のる年担を究授。
力のチれ等立識目習充にロ、でてを工を読図上C用、教め形童め学科ト研てる
人、忘慣確知を学のも普習的し力を善、を向I活実、高習児高高教ツ材しめ
度や習の 着ル導とや学話通現法改た実の な充てを学てを るり教通進</p> | <p>(2) ^ア 態席い律 定リ指と動グ対を表導業ま充力。的のし力やし欲
く着な規 のド的る活ン・びや指授。の解る果下通業法夫意 入のか実善
聞ムし業る能て充國語ミ的学力る、る導読め効Jを授導工習 導制生充改
上向をイを授図技し補を言ラ体い考めしめ指、努の〇善の指を学。に任等の業
話ヤ物、を・指や実、グ主深思高夫進書りにT、改員、態のる年担を究授。
力のチれ等立識目習充にロ、でてを工を読図上C用、教め形童め学科ト研てる
人、忘慣確知を学のも普習的し力を善、を向I活実、高習児高高教ツ材しめ
度や習の 着ル導とや学話通現法改た実の な充てを学てを るり教通進</p> | <p>(2) ^ア 態席い律 定リ指と動グ対を表導業ま充力。的のし力やし欲
く着な規 のド的る活ン・びや指授。の解る果下通業法夫意 入のか実善
聞ムし業る能て充國語ミ的学力る、る導読め効Jを授導工習 導制生充改
上向をイを授図技し補を言ラ体い考めしめ指、努の〇善の指を学。に任等の業
話ヤ物、を・指や実、グ主深思高夫進書りにT、改員、態のる年担を究授。
力のチれ等立識目習充にロ、でてを工を読図上C用、教め形童め学科ト研てる
人、忘慣確知を学のも普習的し力を善、を向I活実、高習児高高教ツ材しめ
度や習の 着ル導とや学話通現法改た実の な充てを学てを るり教通進</p> |

- 上記の方策を実施するため、児童とかかわる時間を十分に確保するため、各分掌の業務を精選する等、働き方改革を推進する。